

普及現地情報



発信年月日：令和5年(2023年)10月2日
所属名：東近江農産普及課東部
番号：D23012
部門分類：150(野菜)
発信者名：井上、野口、軸屋、橋本

イチゴ栽培研修会を開催！

9月14日に管内イチゴ生産者の技術研鑽組織である東近江地域少量土壌培地耕イチゴ栽培研究会(55戸)の栽培研修会を開催し、生産者27名が参加されました。近年、温暖化の影響で育苗期の生育不良や花芽分化の遅れなどの問題が発生していることから、当課が講師として、育苗期の振り返りと定植前後の栽培管理のポイントについて説明しました。

研修会前半は、今年度、育苗期間の気温が高く推移したことにより、健全苗の確保が厳しかったことを踏まえ、育苗ハウス内でミスト散水を活用した昇温抑制の実証結果を紹介しました。

また、気象庁のデータから今後も気温が高く推移すると予想されるため、花芽分化を確認してからの定植を促し、定植後も日中の高温を抑える管理を心掛けるよう説明しました。

あわせて、病害虫の発生が例年よりも多いことが予想され、特に夜蛾類では病害虫防除所からも注意喚起がされていることから防除の注意点について説明しました。

なお、滋賀県オリジナル品種「みおしずく」の栽培状況についても花芽分化の検鏡結果を踏まえ適期定植を促すよう情報提供しました。

研修会後半は、栽培歴が長く機器の更新を検討している生産者に向けた液肥混入機や、収穫期間など繁忙期の人手確保に向けた短期雇用のマッチングアプリを一般企業から紹介する時間を設けました。

研修会後には、生産者から、当課や一般企業に対して多くの質問がありました。生産者同士で活発に情報交換もされ、有意義な機会となりました。

今後も引き続き生産者へ「みおしずく」について情報提供を行うとともに、イチゴ生産者の生産安定と収量・品質向上に向け支援を行っていきます。



写真 栽培研修会の様子